

秋田県医療の将来像と 新たな地域医療構想の策定について

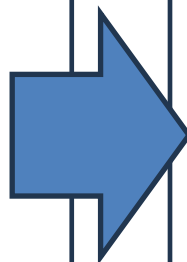
令和8年8月22日

秋田県健康福祉部

地域医療構想とは何か？

医療を取り巻く環境の変化

- 人口減少（患者数減少）
- 高齢化による疾病構造の変化
- 医療従事者の減少



起きること

- 医療需要の減少
- 複合的な疾患を抱える患者が増加
● 治療から在宅復帰まで長期的な治療を担う医療機関の必要性の増大
- 人材を必要とする高度な医療提供体制の維持が困難

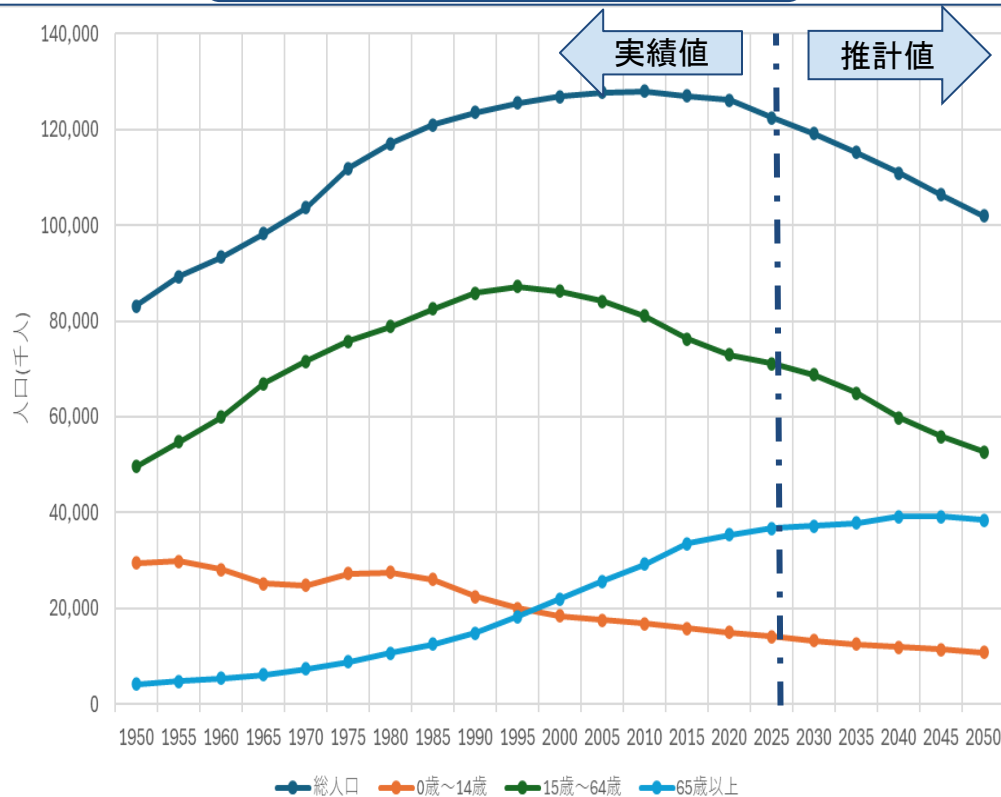
これらの課題に対応し、

- 各地域ごとの望ましい医療体制の設計図を策定するもの（羅針盤）
- 「持続可能な医療提供体制」がキーワード

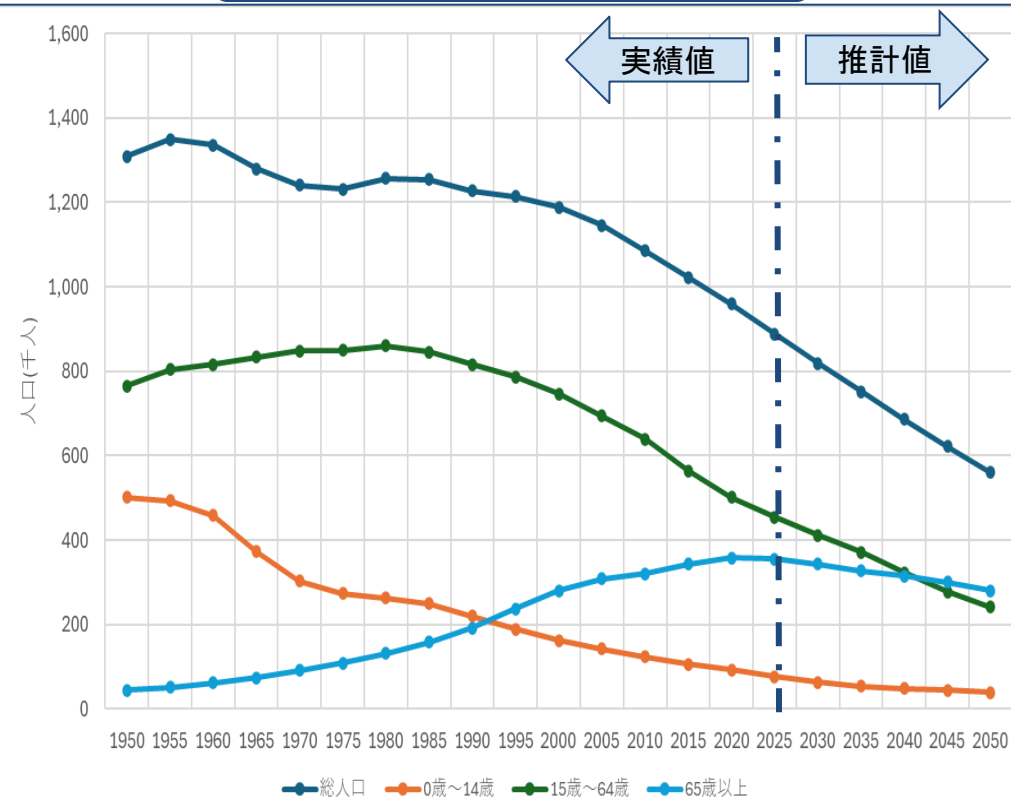
- ・ 2040年以降も医療が提供できること
- ・ 行政の負担、住民の負担が一定の範囲内におさまリ、地域全体の協力で続けられること

人口の推移と推計

全国人口動態



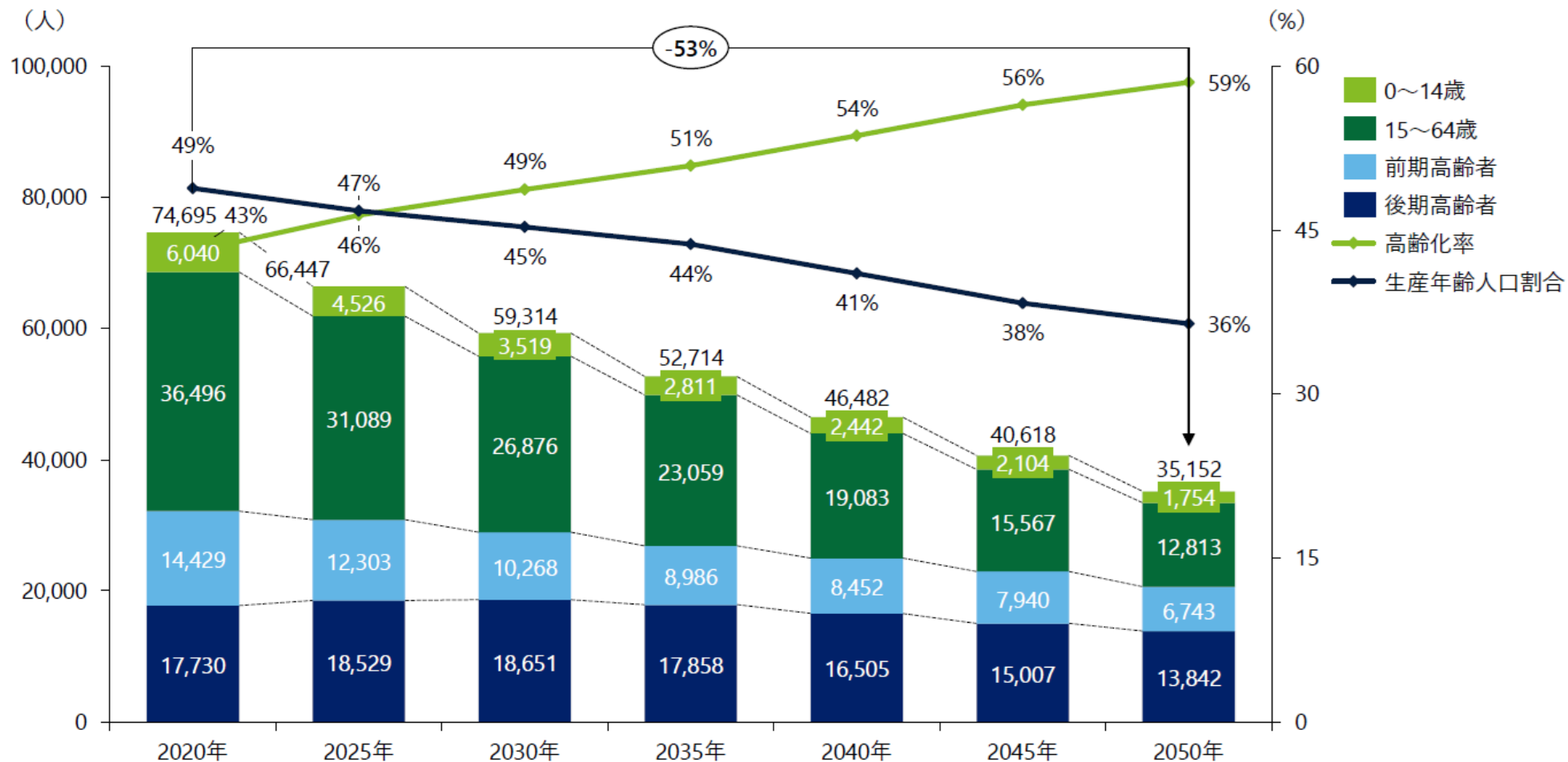
秋田県人口動態



- 高齢者人口は全国的には増加するが、秋田県では減少していく
- 秋田県の生産年齢人口の減少率は、高齢者人口と比較して大きい

能代山本地域の将来推計人口

能代・山本区域は人口減少トレンドにあり、2050年には2020年の53%減と推計されます。後期高齢者は2030年まで増加した後、減少に転じる見込みであり、人口に占める高齢者の割合は増え、2050年には高齢化率59%に達すると予測されます。

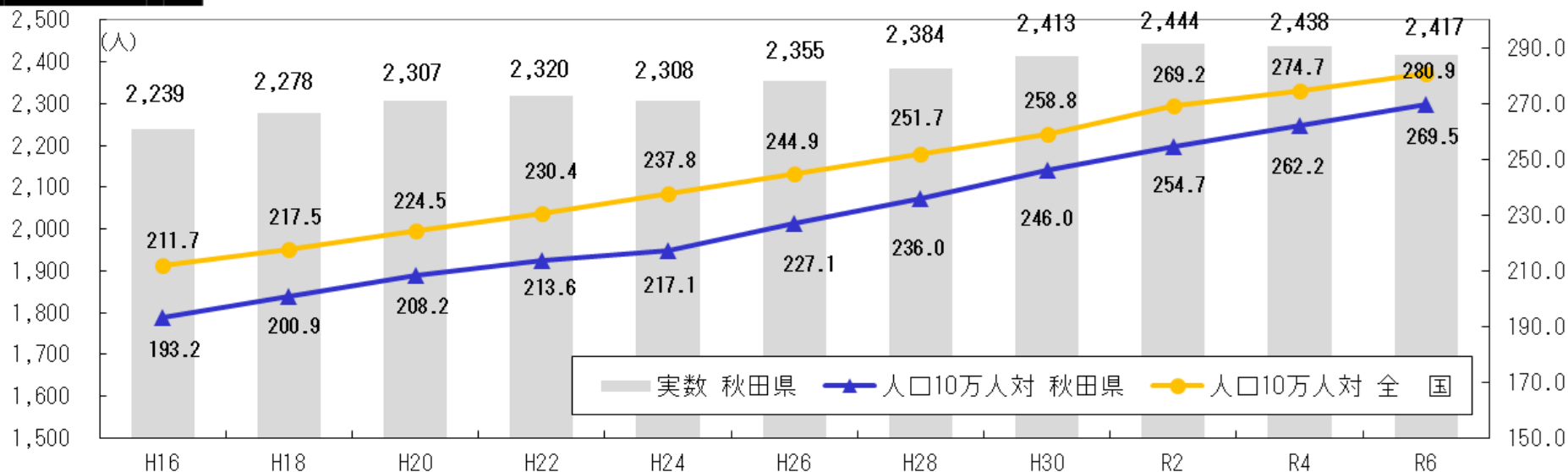


出所：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（令和5年（2023）年推計）」

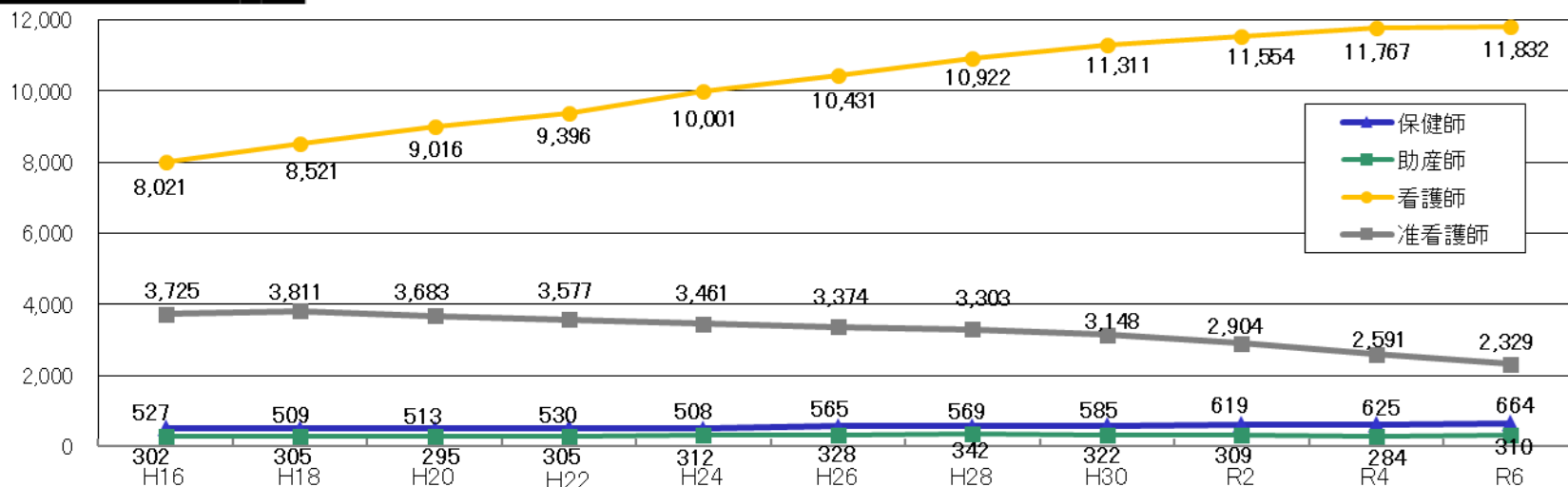
出典：厚生労働省 モデル推進区域伴走支援事業での提供資料
「モデル推進区域の医療提供および医療需要に関する詳細データ分析(令和7年1月)」

秋田県 医師と医療従事者の推移

<< 医師数 >>



<< 医療従事者数 >>

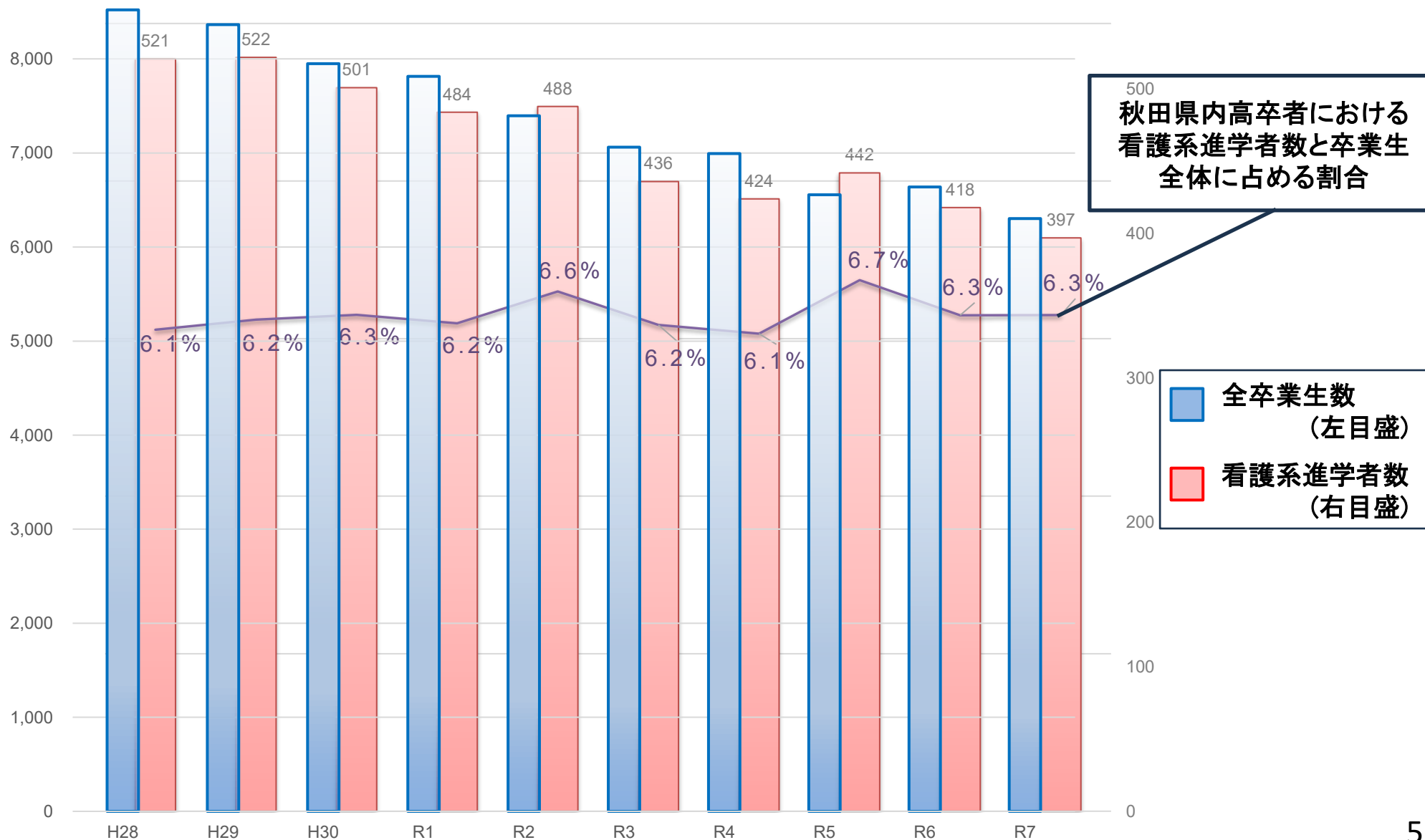


出典：資料「三師統計」「衛生行政報告例」
秋田県健康福祉部「保健・医療・福祉の現状」(令和8年4月)

秋田県における看護系進学者数の推移

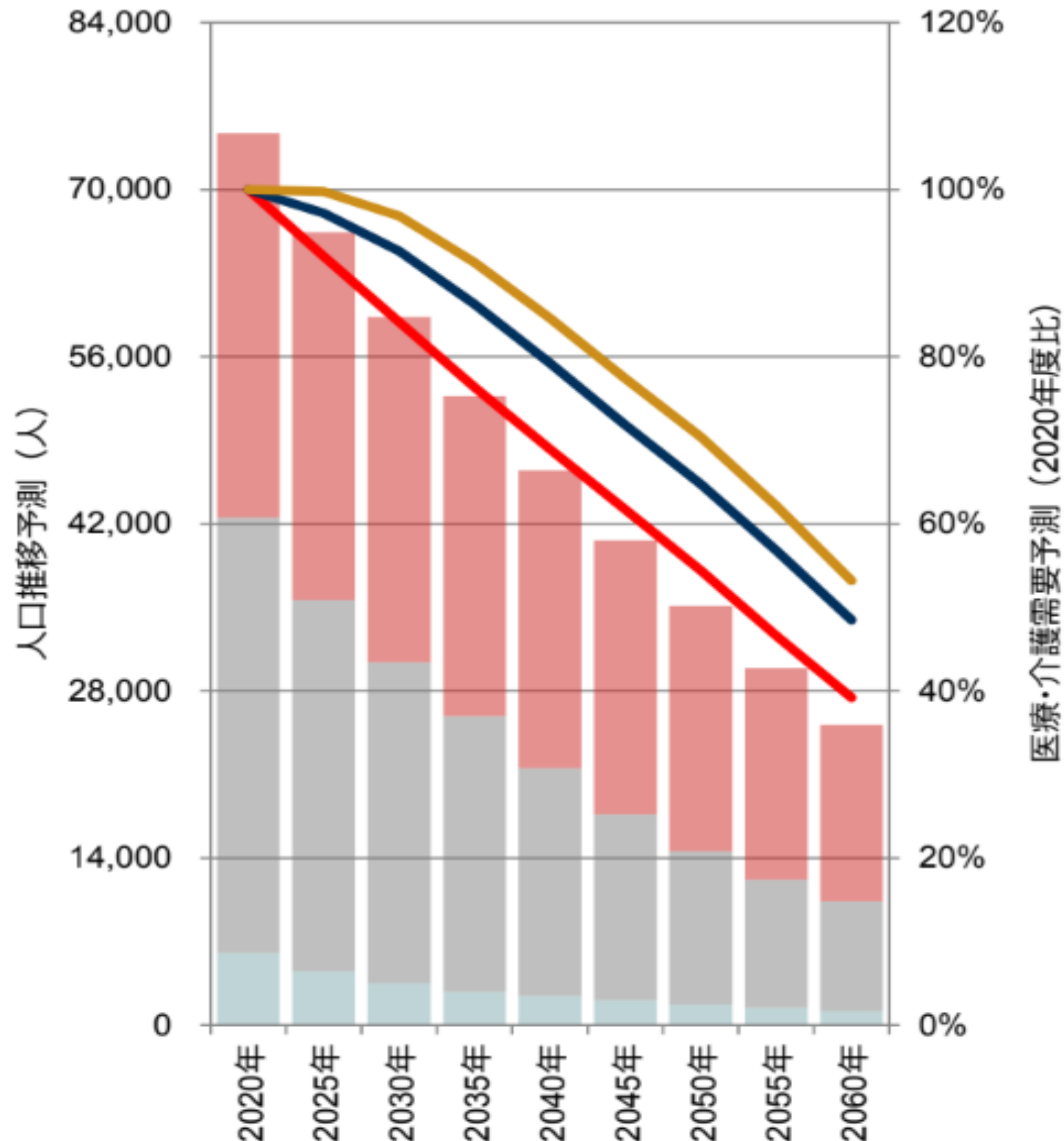
健康福祉部

看護系進学者数は少子化に伴って漸減しており、今後減少が見込まれる。

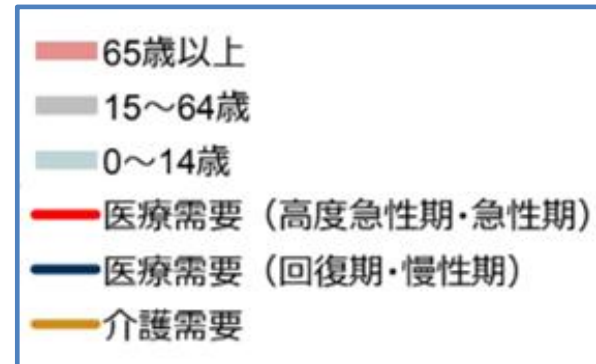


能代山本地域の医療需要

能代山本

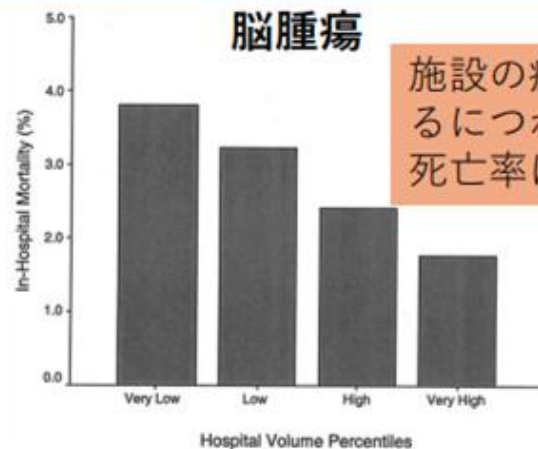


・ 2020年の高度急性期・急性期の医療需要を100とした場合、2040年には約3割減少し、2050年には約5割まで減少する。



高度な症例を集約すれば医療の安全も高まる

脳腫瘍

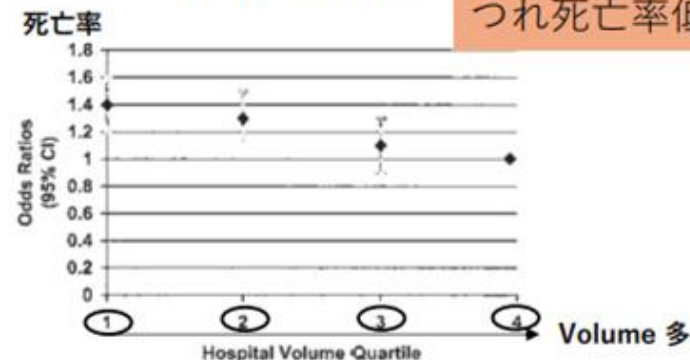


施設の症例数が増えるにつれて入院中の死亡率は低下する

Cowan JA Jr, et al. Thimpack of provider volume on mortality after intracranial tumor resection. Neurosurgery. 2003 52(1):48-53

くも膜下出血

症例数が増えるにつれ死亡率低下

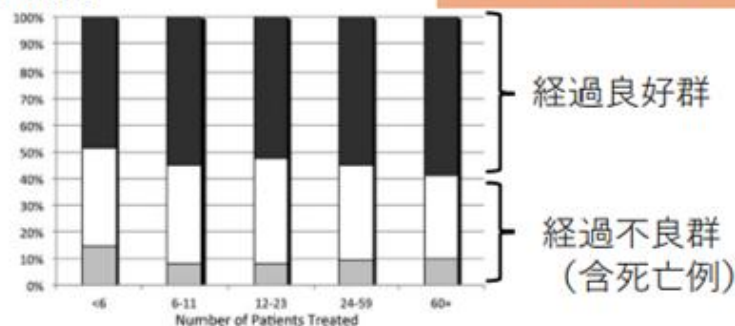


Cross DT 3rd, et al. Mortality rates after subarachnoid hemorrhage: variations according to hospital case volume in 18 states. J Neurosurg. 2003 99(5):810-7

頭部外傷

症例数が増えると経過不良群が減少

患者の割合

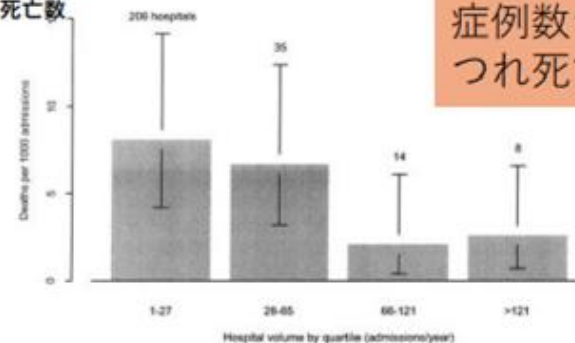


Clement RC, et al. Volume-outcome relationship in neurotrauma care. J Neurosurg. 2013 118(3):687-93

小児神経外科手術 (シャント手術)

1000人あたりの入院中死亡数

症例数が増えるにつれ死亡率低下

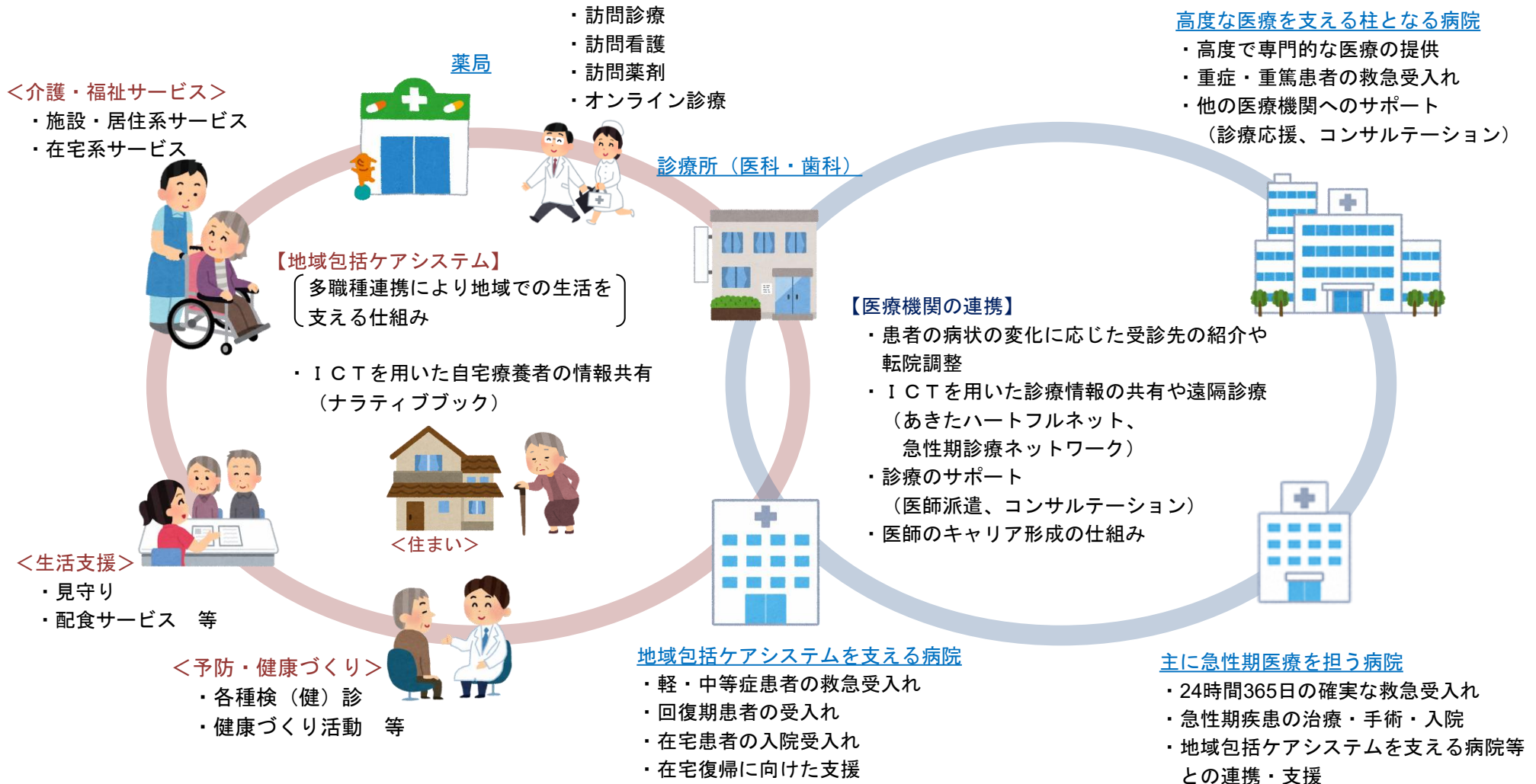


Smith ER, et al. In-hospital mortality rates after ventriculoperitoneal shunt procedures in the United States, 1998 to 2000: relation to hospital and surgeon volume of care. J Neurosurg. 2004 100:90-7

住み慣れた地域で暮らし続けたいという県民のニーズに応え、かつ、質の高い医療を将来にわたって持続的に提供できる体制が構築されている秋田県

【目指す姿イメージ】

医療機関の役割分担と連携の強化により、地域で必要とされる医療を効率的に提供できる体制

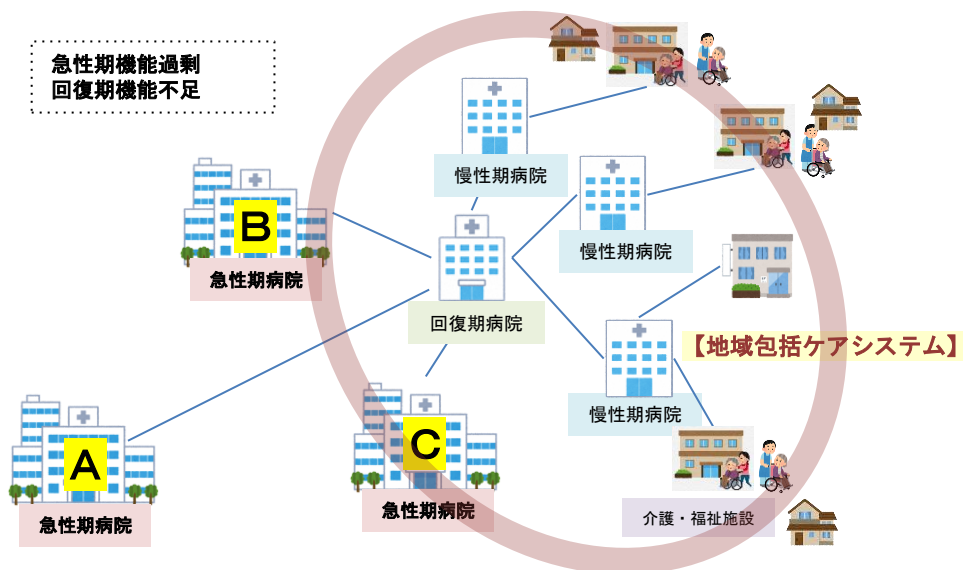


秋田県の新たな地域医療構想策定に向けたベースとなる考え方（グランドデザイン）

✓ 2040年を見据え、限られた医療資源を最大限有効に活用するため、医療機関間の更なる役割分担と連携を推進

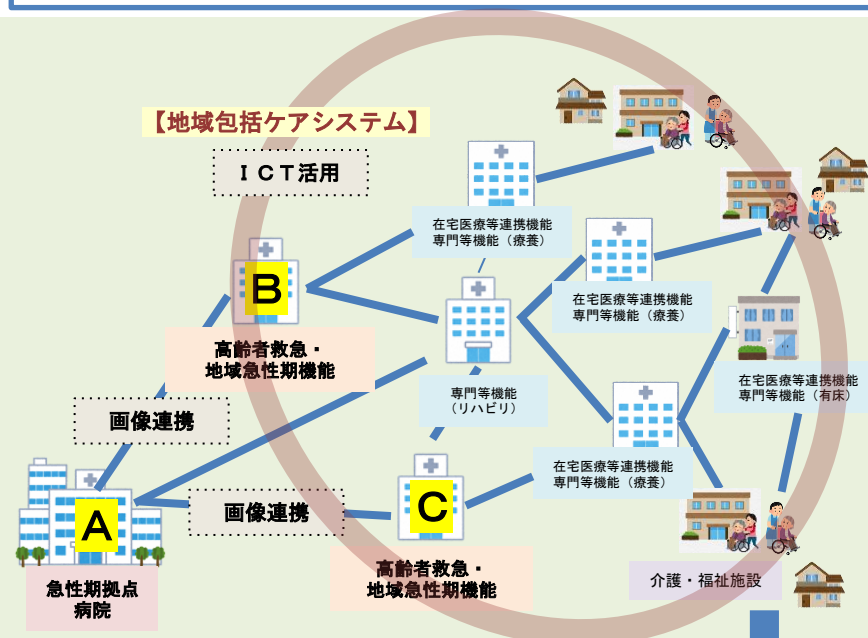
現行の地域医療構想

医療需要を踏まえ、病床機能ごとに必要な病床数を定め、病床機能の適正化を推進



新たな地域医療構想

入院医療だけでなく、医療提供体制全体の課題解決を図るため、医療機関の役割分担を明確化



【新たな地域医療構想で目指す姿】「高度な医療」と「治療から在宅復帰までの包括的医療」の役割分担

- ・急性期拠点病院（Ａ）に、医師や医療機器等の医療資源を集約し、高度で専門的な医療に専念
- ・高齢者救急・地域急性期の医療を担う病院（Ｂ・Ｃ）が急性期拠点病院の後方支援を行うとともに、今後増加が見込まれる高齢者疾患に対応
- ・在宅医療・介護等との連携推進、多職種人材の活躍と連携の推進
- ・ＩＣＴを活用し、高度な医療と地域の医療をつなぐほか、患者情報等を地域包括ケアシステムの中で共有
- ・急性期拠点病院等の各病院が担う役割の決定に当たっては、将来の医療需要や、各病院が備えるべき機能、経営的な持続可能性等、多角的な分析結果を提示しながら、地域の関係者と議論を重ね、合意形成を促進

県の今年度の地域医療構想の進め方について（案）

		令和 8 年									令和 9 年			
		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	1 0 月	1 1 月	1 2 月	1 月	2 月	3 月	
医療審議会													開催 予定	
全体説明会				全体 説明会 開催	・ データ分析等支援業務と 今年度の検討内容の概要 ・ 分析手法や進め方									
地域医療構 想調整会 議	3 構想区域 県北 県央 県南							6 地域会議の状況に応じ適宜開催 ↓ ・ 6 地域会議での協議結果報告 ・ 6 地域会議での調整事項の協議						
	6 地域 大館・鹿角／北秋田 能代・山本／北秋田 秋田周辺 由利本荘・にかほ 大仙・仙北 横手／湯沢・雄勝	・ 書面調査等を活用した医療需要と 医療提供体制の分析 ・ 各地域における機能（特に急性期 拠点機能）の協議 ・ 地域における機能再編案の議論				第 1 回 会議			第 2 回 会議		状況に応じ 適宜開催 これまでの意見や 論点を踏まえ調整			
							・ 機能再編案の実現性を各視点で 分析した結果を報告・協議 → 医師、看護師等確保の視点 → 経営分析、シミュレーション → 各地域の機能別必要病床数の報告							

能代・山本／北秋田地域

各病院の
機能

現在の機能

- 【急性期】
- ・能代厚生医療センター
 - ・JCHO秋田病院
 - ・能代山本医師会病院
 - ・北秋田市民病院
- 【回復期・慢性期】
- ・能代病院
 - ・森岳温泉病院
- 【精神】
- ・島田病院
 - ・鷹巣病院

医療機関機能別の役割分担

- 【急性期拠点病院】
- ・能代厚生医療センター
- 【高齢者救急・地域急性期機能】
- ・JCHO秋田病院
 - ・能代山本医師会病院
 - ・北秋田市民病院
- 【在宅医療等連携機能】
- ・能代山本医師会病院 ・ 能代病院
- 【専門等機能】
- ・森岳温泉病院（リハビリ）
 - ・能代病院（療養）
- 【精神】
- ・島田病院
 - ・鷹巣病院

再編・統合

- ・建物の耐用年数や2040年の医療需要を踏まえ検討
- ・現在急性期を担う3病院が統合し、急性期拠点と高齢者救急・地域急性期機能を幅広く担う形を想定

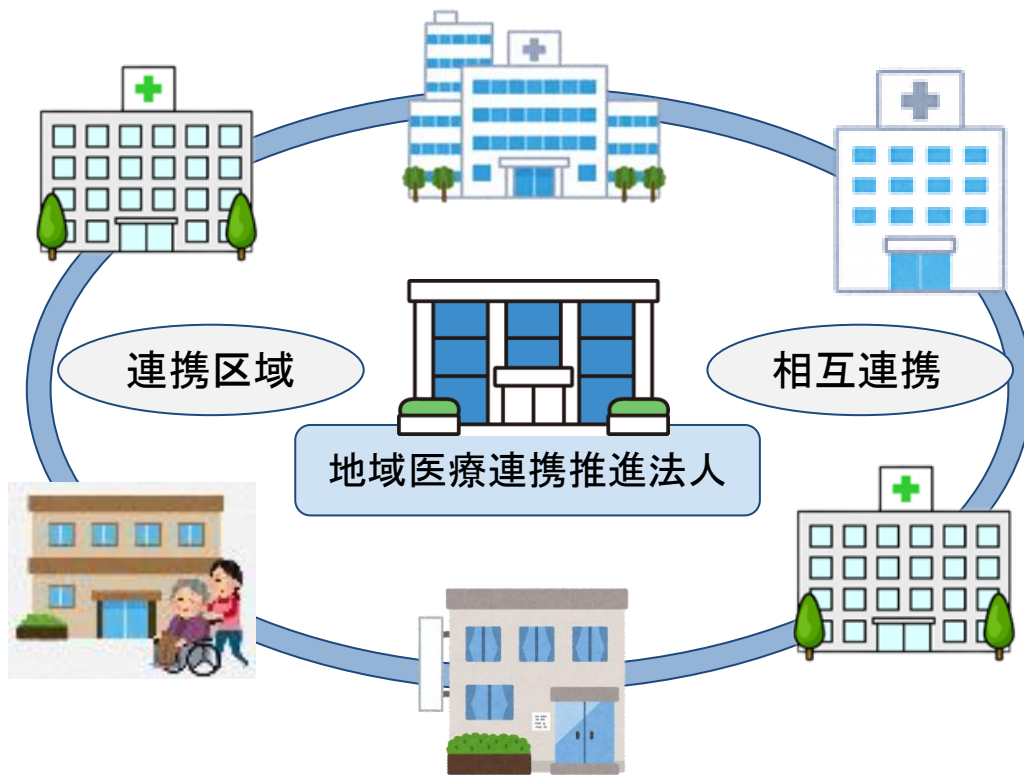
持続可能性
の検討

成り立つか？

成り立つか？

成り立つか？

地域医療連携推進法人とは



役割分担を進めるために有効な制度

医師等の共同研修

医薬品等の共同購入

参加法人への資金の貸付

関連事業者への出資

医療機関の開設

参加法人間の人事交流

参加法人間の病床融通

参加法人等の統括

趣 旨

地域において良質かつ適切な医療を効率的に提供するため、病院等に係る業務の連携を推進するための方針（医療連携推進方針）を定め、医療連携推進業務を行う一般社団法人を都道府県知事が認定する制度

（参 考）

令和8年4月1日現在、63法人が認定

東北は本県4法人、青森県2法人、

山形県2法人、福島県2法人、岩手県1法人

主な認定基準

- ① 病院、診療所、介護老人保健施設、介護医療院のいずれかを運営する法人等が複数参画していること
- ② 医療連携推進業務を行うことを主たる目的とすること
- ③ 医療連携推進業務を行うに当たり社員、理事、監事、職員等の関係者に対し特別な利益を与えないものであること

秋田県内の地域医療連携推進法人活動状況

連携推進法人名	R7活動実績	R8活動予定（参考）
○AFSS（Alliance for the Future and Sustainable Society） 【認定日】R6.4.1 【社員】(医)正和会、(医)双山会 (医)敬徳会、(医)春生会 【連携推進区域】秋田市、男鹿市、鹿角市、潟上市、藤里町、三種町、五城目町	・医薬品の購買代行システムの運用 ・医薬品のフォーミュラリ導入 ・コンプライアンス研修等の共同研修の実施	・専門職種を対象とした共同研修会の開催 ・診療材料等の共同購入の推進 ・医薬品フォーミュラリの運用と検証 ・病床機能の再編及び病床数の適正化に向けた検討
○在宅オンライン医療センター 【認定日】R7.4.1 【社員】(医)晩会、(医)敬仁会 (医)賢友会、(特非)Yokotter 【連携推進区域】横手市	・在宅医療用車両「SUMAMO」の導入(R7.12) ・「SUMAMO」での訪問検査を実施 エコー1回、心電図5回、心音図3回 レントゲン3回 ・共同研修の実施	・連携法人の参画法人等の拡大 ・「SUMAMO」の共同利用 ・共同研修の実施
○北鹿ヘルスケアネット 【認定日】R7.4.1 【社員】大館市、(医)健永会 (医)楽山会、(福)大館市社会福祉事業団 【連携推進区域】大館市、鹿角市、小坂町	・職員派遣の実施 ・安全管理体制確保のための合同研修を実施 ・大館市立総合病院と連携推進法人を構成する介護施設の間でオンライン診療を開始	・職員派遣の実施 ・職場改善に関する講演会や感染対策に関する研修会を開催 ・医薬品のフォーミュラリやオンライン診療について引き続き実施

【申請名】一般社団法人能代山本ともに医療ネットワーク

【認定日】R8.4.1

【社員】秋田県厚生農業協同組合連合会、独立行政法人地域医療機能推進機構、一般社団法人能代市山本郡医師会

【連携推進区域】能代市、三種町、八峰町、藤里町

【医療連携方針】①3病院の連携のさらなる強化 ②職員の人材育成、人材交流
③診療機能の集約化・分担、病床機能の再編・適正化

県内4つ目の
連携法人が能代を中心
とした区域で設立！